

紫朋

SHIHOU

Vol. 50 平成17年4月

発行
横浜市立金沢高等学校
同窓会「紫朋会」

会長挨拶



第十二期卒
(昭和三十九年卒)
高梨 修

紫朋会会員の皆様におかれましては、ますますご健勝でお過ごしのこととお慶び申し上げます。また日ごろから当「紫朋会」に対して様々なご支援・ご鞭撻を頂き、厚くお礼申し上げます。

さて平成十六年度の紫朋会は、五月最終土曜日の定期総会、四月・九月・一月と年三回の常任幹事会をはじめ、十月の金高祭への参加、春秋のハイキングの会、舟釣りの会、十二月のリース教室と、例年通りの行事を滞りなく行う事ができました。五月の総会では、懇親会に多数の同窓生の参加をいただき、盛会裏に終了しました。

さて、ここ数年、学校や学生・学童を巻き込んだ事件や犯罪が増加しているのに伴って、社会がもつと教育の現場に関わりを持つべきとの認識が広がり始め、小学校等では地元の職人さんを招いて授業を行ったり、また一部の高校では企業人が校長に就任するなど、学校と社会が接近する新しい動きも出ています。

当紫朋会でも、在校生にも役に立つ紫朋

会“を目指して、昨年から当会員が参加・支援する在校生向けの進路相談機会づくりの準備や、在校生と卒業生との新たな交流機会の検討を始めたいです。

一方、活動資金の問題をはじめ厳しさを増す状況のもとで、紫朋会活動のあり方をどのようにし、どう運営していくかという課題の重要性はますます高まっています。本当に同窓生の役に立つ同窓会であるためには、卒業生同士の交流を図るだけでなく、会員人材バンクなど相互の連携強化策や、交流場所の検討などを進めて行く事が必要です。

これらの問題を検討していくために、一昨年には「紫朋会構造改革委員会」第1回の会議を開催しました。昨年度は諸般の事情により遅滞しましたが、今年度は反省を込めて推進いたす所存です。

これからの紫朋会のあり方について、会員の皆様の様々なご意見、積極的な提案もお聞かせ頂きたいと思えます。同期の常任幹事経由で、あるいはがき等でご連絡いただき、紫朋会活動に様々な形でご参加下さいますようお願い致します。

最後になりましたが、紫朋会会員の皆様、在校生とご家族の皆様、教職員の方々のご健勝とご発展をお祈り申し上げます。

学校長挨拶



学校長
柳田 緑雄

私は平成元年から12年間金沢高校で数学の教員として、その後の2年間を副校長として勤務いたしました。平成15年からは横浜商業高校に副校長として2年間勤務し、今年度4月より本校校長として古巣に戻ることができました。どうぞよろしくお願ひ致します。金沢高校の校長に就任致しましたことは大変光栄ではあります。それ以上に責任の重さを痛感しております。今後は教育における不易と流行のバランスを見定め、金沢高校における古きよき伝統を大切にするとともに、時代に即した市民ニーズに応えられる「開かれた学校」を目指していきたいと存じます。この目標に向かって教職員が一丸となり取り組んで参りたいと思っておりますので紫朋会の皆さまのご協力をお願いいたします。

ところで、創立50周年記念式典では、前佐藤会長をはじめ紫朋会の実行委員会の皆さまには2年間の準備期間を通して大変お世話になりました。記念式典・祝賀会が盛大に滞りなく行うことができましたことは、偏に紫朋会の会員の皆さまのご支援・ご協力のお陰であると感謝申し上げます。

今後とも本校教育活動にご協力頂くとともに、ますます紫朋会の諸活動が円滑に推進されますように願っております。

平成十七年度

紫朋会総会のお知らせ

◆日時 平成十七年五月二十八日(土)

◆会場 横浜市立金沢高校

●第一部 午後一時から
講演会 視聴覚教室(階段教室)

演題 「仏教におけるボランティア」

講師 高野山大学学監
鹿野 融照氏(五期卒)

・詳しくは四ページ参照

●第二部 午後二時から

総会 視聴覚教室(階段教室)

議題 平成十六年度 事業報告

平成十六年度 決算報告

平成十七年度 事業計画

平成十七年度 予算案

会則改正

役員改選

その他

●第三部 午後三時から

懇親会 食堂

会費 二、〇〇〇円

(平成十七年三月卒業生は無料)



平成十六年度 事業活動報告

■ 常任幹事会

常任幹事会は、紫朋会の総会で決定・承認される各事業の企画を検討し、また、承認された予算をもとに各事業を執行する機関です。各卒業期ごとの代表(常任幹事)で構成されています。平成十六年度は次の通り開催されましたので、ご報告いたします。

【第一回】

- 四月十日(土) 於・金沢高校会議室
議題① 「紫朋会号」発行について
- ② 平成十五年決算報告
- ③ 平成十六年度事業計画・予算案について
- ④ 平成十六年度総会について
- ⑤ 役員改選について

【第二回】

- 九月四日(土) 於・金沢高校会議室
議題① 会計中間報告について
- ② 金高祭参画について
- ③ 「紫朋会号」発行について

【第三回】

- 一月二十二日(土) 於・金沢高校会議室
議題① 「紫朋会号」発行について
- ② 平成十七年度事業計画について
- ③ 今後の紫朋会の在り方について
- ④ 役員改選について

常任幹事会は紫朋会の運営には不可欠の重要な活動です。今年度の幹事会開催予定は別掲のとおりですが、今年度の紫朋会でも様々な活動が予定されていますので、クラス代表であるか否かにかかわらず、会員の皆さんの積極的な参加をお待ちしています。

■ 平成十六年度総会

五月二十九日、八期卒業生、小関道夫氏(山形大学理学部教授)を講師としてお迎えし、総会がスタートしました。講演にさきがけて、高橋校長先生より金沢高校の現状報告があり、時代の変化もあって学校も単位制の学校となり、あいかかわらず人気も高く入学希望者が多いとの事でした。地域の中の評価が高いということ、母校の発展だけでなく、社会的貢献の継続がこれからも続いていくことに卒業生としての喜びを感じます。

さて、卒業生の小関氏の講演ですが、演題は、「計算機小史」でした。小関氏は現代の情報通信技術の発展に貢献した世界的な数学者です。哲学で有名なパスカルやライブニッツの計算機構想から、現代の技術につながっていくコンピュータ構想の基盤を考えたC・バベッジの功績の説明がありました。単なる計算機能だけではなく、演算装置とともにデータ保存部を考案した画期的なものでした。その後、機械式計算機から電子計算機の時代になったのが、一九三〇年代で、主としてアメリカにおいて、軍事上の要求に基づいて研究が盛んになりました。その主なものとして、弾道計算、作戦計画、物資補給計画、原子爆弾設計の際の計算などです。この段階で、電子回路の解析にブル代数を利用し、真空管による電子計算機が完成しました。戦後には、人工知能の論文が発表されたり、終戦前後にはプログラム内蔵の提案が出たりし、半導体メモリーの出現、マイクロプロセッサ等によりパソコンが七〇年代に作られました。さらに、通信においては、エンタロピーの概念(符号理論)

情報伝達の際の効率を計量化して解析する方法論、が通信の数学的理論として発表されました。小関氏は、この符号理論の世界において活躍しました。その後は、暗号理論などにより情報セキュリティの利用の在り方やプログラム言語の階層、情報の符号化などについてお話をいただきました。生活に密着している情報通信機器に関わるお話でしたので、専門的な難しい部分もありましたが、興味もあり、あつというまに講演予定時間が過ぎてしまいました。

その後は、総会で十五年度の事業活動報告と決算報告、十六年度の事業活動予定ならび

に予算案をはかり、さらに、紫朋会の将来の在り方を検討する「構造改革委員会」について報告がありました。十五年度にスタートした会を十六年度も引き続いて計画的に運営していく方針であることを高梨会長から発表しました。役員改選については、全員留任ということで承認を受けて、十六年度も執行部として紫朋会を運営していくことになりました。

懇親会は、食堂で、やや平均年齢が高い中で和気あいあいとした楽しい時間を共有いたしました。

平成十七年度の総会講演会での講師は、五期の鹿野融照氏が担当されます。鹿野さんは、高野山大学の学監として活躍されています。

■ ハイキングの会

昨年度は観測史上稀にみる記録的な台風上陸回数と度重なる大雨に見舞われた。六月の第十九回も台風4号の接近のためやむをえず中止にしました。

第二十回は悪天候の晴れ間を縫って十一月十三日(土)に倉岳山(990m)にて実施されました。

昨日の雨もすっかりあがり、二十回目を祝うように明け方の寒気も和らぎ雲一つない快晴無風となり、鳥沢駅に着く頃は暖かいくらいになりました。今回参加者は5期から8期までの5名、丁度よい人数。

駅前で自己紹介と準備運動を済ませ、「いざ出発」。虹吹橋から桂川の絶景に目を丸くし、山村で柿を拾ってかじりながら歩き、小篠の池



(貯水ダム)で深い神秘の色を楽しみつつ小休止。登りは大儀であったが清流や深山幽谷の森林浴に癒され無事頂上へ。待望の弁当に舌鼓を打ち、熱いコーヒーなど馳走になり歓談、ハイキング至福の時を満喫。あいにく雲が出てきて富士の雄姿は望めなかったが、山頂での記念写真には笑顔がこぼれる。大きな栃の木茂る沢沿いの道を下り、全員無事に梁川駅へ下山し全行程を終了した。

■ 紫朋会「舟釣りの会」

昨年に続き今年も「舟釣りの会」を九月二十五日(土)に実施しました。

今年度の釣り大会の参加者は昨年より1増の8名。本ガツオがつかれているとの情報に期待して、相模湾・茅ヶ崎港のちがさき丸から勇んで出船。エボシ岩を見ながら行程約二十分の洋上で気合を入れて一日頑張ったものの、残念ながらカツオの顔は拝めずでした。それでも旬のサバやソウダガツオは入れ食いで、程よく秋の釣りを楽しむことができ、無事夕刻に帰港し、次回は絶対好漁を期そうと語りながら散会しました。

■ 金高祭

平成十六年度の金高祭は、十月二日(土)・三日(日)に行われました。

昨年と同様に、各期卒業アルバム展示、来訪者へのお茶とお菓子のサービス、輪投げと乾電池のつかみ取り大会、金沢高校30年を振り返る写真展を実施しました。

■ リース教室

十二月四日(土)10名のOBが参加して行われました。

今年、羽子板をモチーフに正月向けの可愛いリースを作成しました。

会員便り

□平成十七年度総会講演者



第五期卒
(昭和三十二年卒)
鹿野 融照
社会活動家
高野山大学学監

仏教に於けるボランティア

はじめに、ボランティアという概念がまたたく間に社会に定着し、さらには、あらゆる活動にあって当然の存在とさえ思われ、それに関わる事はさして珍しいライフスタイルでもない程の状態にあります。中、高等学校教育の正課単位として授業化され、特色ある高等教育の卒業科目として認定される等、あるいは自然災害発生の際に、各地に展開されるボランティア・センターの立ち上げと登録には、年齢・経歴が問われない、自由参加を前提とした立派な市民権を確立していると考えてよいでしょう。

急速な社会的影響力を此処まで大きく広げたボランティアとは、どのような源泉を持つものなのでしょう。その歴史的な成立から考えてみることに致します。

ボランティアの宣教とボランティア
ボランティアとは、その語源「ボランタス」というラテン語から始まります。自発的とか、自主的という意味であり、後に自発的に行動する主義が、ボランティアシズム。行う人をさす「VOLUNTAS + EERI」の英語標記に変化した形で使われるようになったと考えられます。

ここでは、キリスト教の発達に伴う宣教の歴史的背景を除くことは出来ません。キリスト教の教義に従えば、「神の愛の実践、

あるいは神の愛の確認をする」をすることが、即ち信仰の中心に求められ、海外での宣教や伝導を行うおとした時、神の福音として届ける手段として、ある時は医療を、ある時は福祉を、またある時は保育や教育等を「神の恩恵」として、一緒にもたらそうと考えられたのです。

つまり唯一神の教えであるキリスト教伝道には、「神の愛の普遍化と、神の愛を受け入れようとする人々」に、様々な職業的な専門知識を持つ人々が、自発的に各地に赴き、その地での活躍することが、信仰の証しでもあった歴史的背景を見ることが出来るのです。

また西ヨーロッパ各国が植民地主義と歩を一にしていた時代、インカ帝国の滅亡に荷担していた世俗の権力者が、同時に神の福音を届ける教会の使徒としての開教ミッションを旗印として、いわゆるキリスト教会の存在を、政治的利用に使ったのも事実と思われれます。

純粋な伝道と共に異文化接触の長い歴史が育てたボランティアは、試行錯誤を繰り返す海外ボランティア活動などの積み重ねの歴史を経て、今日の無くてはならない重要な存在となってきたのだと言っても良いでしょう。

対する仏教のボランティアとは
仏教の「縁起思想」

・およそこの世のすべては、他との関係が縁となつて生起すること。
・すべての現象は、無数の原因や条件が相互に関係しあつて成立しているものであり、独立自存のものではなく、諸条件や原因が無くなれば、結果もおのずから無くなる。つまり、それぞれの個というものは、それ自体だけで存在できるものではない。

・常にありとあらゆる人々との相依相待の関係において、初めて個というものが成り立ち得るといふのが基本的な考え方であり、裏返してゆえば、他の幸せが無い限り、自分の幸せは無い。また他との共存関係が無い限り、自分という者もありえない。

・他の幸せを常に考え、他の人の幸せを作り出す為にはどうするのか。そうゆう具体的ななはたらきかけのないところには、慈悲はもろろん、悟りも智慧もないと考えられてきた。何故「組織的」な運動になりえなかつたのでしょうか。

・仏教の歴史の中では、常に菩薩行(布施行)として、行基・空海・忍性・叡尊・鉄眼など多くの仏教者達よつて社会福祉活動が行なわれ、墨や筆の製法、製茶・製菓、石炭・石油・温泉の発見や栽培法、井戸の掘削、難路の修築、橋梁建築、養蚕、農業用貯水池、大仏建立プロジェクト、印刷、飢餓救済活動、難病者救助、捺染などあらゆる分野が民衆の福祉として行われたのである。

・これらの中には、当然国家的プロジェクトも含まれ、高僧の指示に従つて付き従う数千人規模の人たちの布施行は、仏教ボランティアとよぶことができる。

仏教の菩薩行(布施行)とは、人格完成のための修行を積む事を目的とします

・陰徳(表に現れない行為)
・仏教において、慈悲の活動をする場合に、むしろ他に見えない形で行う。さりげなく行い、他の人に見つかるのを恥じる。

・三輪清浄として、布施をする人とされる人、そして布施物の三つが常に清浄であることを究極と考えた為に、なかなか表面的な運動体にならないのが特色。

・仏教や儒教の風土的影響が日本人のボランティア活動に影響を及ぼしている。従つて日本の場合、援助や救助する側の在り様よりも、される側の人たちのことを考え、彼らの自立を妨げないよう相手の主体性を尊重する傾向にある。

・世界的な傾向として、日本型ボランティアが、西欧型ボランティア団体から注目され始めています。

災害救助活動ボランティアの4原則

- 1、ニーズ調査
 - 2、PROJECT・FINDING (プロジェクト・ファインディング)
 - 3、実施計画
 - 4、COUNTER・PART (カウンターパート)
- ・資金・事業計画・評価基準
 - ・現場の相手を誰にするのか。

Date 2005・2・15
「文責 高野山大学学監 高野山真言宗徳恩寺名 誉住職鹿野融照」

労務管理・労災保険・雇用保険
健康保険・年金相談・給与計算

中村社労士事務所

社会保険労務士 中村由明(17期)

〒235-0033 横浜市磯子区杉田1丁目11番29号
TEL・FAX(045)773-3751

老後の不安を安心に変える!

法務コンサルタント

□行政書士 □賃貸住宅管理士

御 蘭 昌 人 (24期)

主な業務 相続・遺言・成年後見
賃貸住宅法務コンサルティング

〒235-0036
横浜市磯子区中原4-26-19-503
FAX&TEL 045-778-7155

□携帯 090-4548-7039
E-mail:misono@rougo-ansin.jp
URL http://www.rougo-ansin.jp

平成十六年度
寄付者一覧

紫朋会の運営は、在校生からの入会金と会員の皆様からの寄付によって成り立っています。

今年度も、多くの皆様からの「寄付」を頂きました。厚く御礼申し上げます。また、引き続きより多くの皆様の「理解・ご協力」をお願い申し上げます。

今年度寄付をしていただいた方々は、次の通りです。(敬称略)

- 2期 植松 和紀、平島 喜導、石村 喜美子、花方 弘、山田 義雄、石橋 幸子、一澤 哲夫、大野 伸子、三枝 幸雄、鶴若 勲、森 志津子、山梨 淑子、石井 フジ子、藤田 生恵
- 3期 阿達 功、飯田 澄子、井上 弘子、鹿野 融雅、蒲谷 博幸、境 勇、石橋 貴美子、金井 清子、百溪 浩、浦崎 治子、丹内 明男
- 4期 稲垣 俊治、黒部 淑子、小林 栄一郎、堀江 雄次、浅島 稔、内田 哲也、木村 寿子、日置 三基、三浦 久雄、森 正義、稲木 英生、右城 栄一、高橋 和子、広川 信、荒木 泰三、我妻 美知子
- 5期 池頭 みさ子、菅野 由利子、田野井 俊一、土岐 道子、大原 明美、鹿野 融照、二宮 瑳枝子、平井 英雄、村松 省三、相川 勲、壹谷 弘、島田 昭子、高橋 礼子、田中 耕多、二宮 やす子、須々木 南恵、左右田 宗夫、中田 貴子、中丸

- 則子、橋本 博幸、水野 直春、田辺 雅也、南條 保子、斉藤 尊門
- 6期 角田 美智子、近藤 雄太郎、齊藤 マツ子、本間 みづほ、赤岡 充雄、高橋 満、只木 可典、奥田 美佐子、木下 照子、田宮 健三
- 7期 大津 弘子、大畑 敏久、小沼 廣喜、木村 クニ、上井 アキ子、吉田 宏、金子 文子、野村 恭子、藤田 騰、本多 郁子、木村 裕一、中山 綾子、名取 弘子、野村 恵子
- 8期 上曾 妙子、川原 とし代、三浦 博之、横山 昭江、伊藤 壽枝子、米沢 美佐子、岩崎 建一郎、大久保 照子、小関 道夫、片山 克彦、倉野 栄二、椎名 治、澁谷 徹、鈴木 美奈子、上曾 秀孝、左右田 昭夫、新羅 洋一、田中 容子、足立 子の子、小川 恵美子、谷村 千恵子
- 9期 田野井 宣子、遠藤 美智子、大原 靖子、高木 洋子、中山 百代、蒲谷 正夫、横山 美子、上野 紘、中村 陽子、花方 威之、小幡 正雄、蒲谷 政彦
- 10期 亀岡 健一、林 俊広、小山 健人、山本 光世、高橋 吉則、石田 正明、杉山 省而
- 11期 藤田 喜美子、岡田 紀子、小幡 あけみ、武井 晴子、中島 博子、本郷 千恵、安島 幸子、村田 恒夫、山本 盛明
- 12期 明石 稔、石田 京子、境 聰子、佐田 和江、加藤 文子、川添 一弘、矢田 融海、渡辺 徹、渡辺 みすず
- 13期 高木 貴代美、梅原 マチ子、谷津 憲治、中川 圭子、遠藤 和孝、大原 曜子、柳本 茂、金谷 裕紀子、西山 千恵子、道

- 岡 文子
- 14期 豊福 洋子、荒井 憲一、齊藤 千恵子、佐藤 邦彦、佐野 主水、高橋 和男、藤井 明夫、酒匂 雅隆、白井 隆雄
- 15期 岩城 義子、五十嵐 美恵子、木本 容子、島田 克夫、芥木 和夫、長島 昭三、坂本 由利子、有坂 由美子、石黒 和明
- 16期 石井 敏子、遠藤 千鶴子、今度 三紀子、吉田 君江、佐川 喜美江、塚本 定夫、高野 研市、村上 賢、関 文雄、岩崎 裕二朗
- 17期 中塚 路子、山田 徳治、小池 守、樋口 正美、中村 由明
- 18期 斉藤 美知子、佐藤 愛子、崎島 陽子、遠藤 譲一、木村 雅和、山口 英雄
- 19期 田中 千恵子、木谷 博子、蒲谷 栄子、片桐 泰典、戸高 真澄
- 20期 中沢 郁子、大宅 道子
- 22期 嶋本 晴美、安達 武男
- 23期 長谷川 隆、小笠原 裕、川上 倫
- 24期 川上 佳子、大久保 雪代、戸塚 節子、中村 千鈴、加藤 道夫、佐藤 智子、三浦 澄明、五井 克典、横尾 英男
- 25期 味見 ゆかり、大島 裕子、細谷 恭子、山内 江津子、坂下 ふみ、菊池 聰、菊池 昭子、戸塚 基司、松永 雅美
- 26期 小菅 民江、西永 秀子、山下 仁
- 27期 小出 美智子、豊嶋 江里加、中條 由香里、長谷川 裕美、浅川 均、溪 雅弘
- 28期 清水 純子、中島 靖雄、鳥山 強
- 29期 林 克巳、小久保 和子、富田 美奈子、増田 尚子、磯野 豊次、竹田 浩一
- 30期 阿部 昭子、阿部 敬子、鈴木 隆史、長澤 哲也、内田 節子、清水 幸子、中村

- 武司、田村 敬子、片桐 紀子
- 31期 小林 宏州、中西 咲子、渡辺 一夫、中川 尚美
- 32期 石倉 恵介、萩原 哲夫、河股 誠、久保 信本、今野 利恵、北山 悦子
- 33期 小林 剛、金子 豊、川島 庸子、増田 智彦、佐藤 敏幸、杉本 勇治、柿沼 裕之、出井 加奈子、原田 政明
- 34期 河股 千恵、毛木 由美子、富澤 則之、岩崎 万里、佐藤 明子
- 35期 五十嵐 正喜、墨谷 幸恵
- 36期 藪 謙二、石山 雅彦、植木 総一郎、佐藤 真理、池田 喜紀、安田 恵子
- 38期 薄井 渉、大江 朋子、田川 佳子、舟津 美恵
- 39期 小杉 信弘
- 40期 工藤 恭子、有村 宏一
- 41期 大熊 恵美子、早坂 善児
- 42期 前川 智彦、衣川 陽子、戸田 宏子、杉村 亜以子
- 43期 関 孝政、佐藤 典章、北澤 洋
- 46期 西森 香理、筒井 武裕、吉田 拓也
- 47期 渡辺 玲央
- 48期 中村 光、浦 辰徳
- 49期 齊藤 正央、新田 紋子、星野 亮、佐藤 格
- 50期 坂本 雄一、長島 昌伸
- 51期 神崎 政雄、岡田 禎博、小野谷 あゆ美
- 52期 久保 亜沙子、本田 洋資、鈴木 英央、山本 俊、石山 優子
- 旧職 唐鎌 忠孝

同期会クラス会便り

□ 台風も祝福！
卒業五十周年二期同期会

金高を昭和二十九年三月（一九五四年）に卒業して平成十五年で満五十年、ここ三十年位毎年開いている二期同期会も、今回は、卒業五十周年を祝う特別の会として開催されました。

十月二十一日、会場は、関内スタジアム前の「ホテル横浜ガーデン」を予約、六十五人から出席の返事を受けていました。当日、季節はずれの台風二十六号が直撃するという予報が出され、二日前になって急遽中止決定、幹事は一日中電話連絡に追われました。再度通知を出して、やり直し同期会を

平成16年度寄付期別集計

| 期 | 金額 | 期 | 金額 |
|----|---------|-----|------------|
| 2 | ¥63,000 | 28 | ¥6,000 |
| 3 | ¥57,000 | 29 | ¥14,000 |
| 4 | ¥59,000 | 30 | ¥37,000 |
| 5 | ¥94,000 | 31 | ¥8,000 |
| 6 | ¥45,000 | 32 | ¥14,000 |
| 7 | ¥82,000 | 33 | ¥26,000 |
| 8 | ¥83,000 | 34 | ¥10,000 |
| 9 | ¥33,000 | 35 | ¥4,000 |
| 10 | ¥46,000 | 36 | ¥12,000 |
| 11 | ¥30,000 | 37 | ¥0 |
| 12 | ¥31,000 | 38 | ¥8,000 |
| 13 | ¥22,000 | 39 | ¥2,000 |
| 14 | ¥25,000 | 40 | ¥8,000 |
| 15 | ¥36,000 | 41 | ¥4,000 |
| 16 | ¥31,000 | 42 | ¥36,000 |
| 17 | ¥14,000 | 43 | ¥6,000 |
| 18 | ¥13,000 | 44 | ¥0 |
| 19 | ¥15,000 | 45 | ¥0 |
| 20 | ¥6,000 | 46 | ¥6,000 |
| 21 | ¥0 | 47 | ¥2,000 |
| 22 | ¥4,000 | 48 | ¥4,000 |
| 23 | ¥8,000 | 49 | ¥8,000 |
| 24 | ¥26,000 | 50 | ¥4,000 |
| 25 | ¥26,000 | 51 | ¥14,000 |
| 26 | ¥9,000 | 52 | ¥11,000 |
| 27 | ¥26,000 | 旧職員 | ¥10,000 |
| | | 総計 | ¥1,138,000 |

十一月十九日同ホテルで開催、五十一人が参加しました。いつもは、二次会はカラオケ屋に会場を移していましたが、今回は、場所を変えずに、カラオケを楽しむとうしましたが、機械の調子が悪くて、カラオケなしでたっぷり三時間おしゃべりを楽しみました。また、五十周年にあたって、みんなからメッセージを寄せてもらって、記念の冊子を作成、配布しました。ただ、出席者はみんな元



気が良いのですが、体調が不良という理由で欠席する人が年々増えているのが残念で、心配です。どうかこれからもみんな元気と、にぎやかにこの会を続けていけたらと思います。次回（ことし）は、みんな七十歳、古希を祝う会を盛大に開こうと、小出 正 佐藤 章、青木 朝子、鈴木 祥江の四人を幹事に選んで散会しました。（今回の幹事） 曾我 智恵子、佐久間 陽子、桑原 昭夫、菅原 章丞

□ 十期同期会

十期（昭和三十七年卒業）の第六回同期会は、十六年十月三十日（土）に開催された。今回の幹事は一組と四組が当番である。会場は「相生」金沢八景店と決まった。

当日は、水雨模様のおかげで、天気ではあったが同期生四十三名のほか恩師中村久先生が駆けつけてくださり、鈴木清司君の開会挨拶と乾杯の音頭で会はスタートした。窓際に料理を並べたビュッヘスタイル、飲み物はフリーズドリンク制で気楽に飲んでいただくという次第。丸テーブル七卓の各々に人の輪が出来てすぐに歓談が始まった。

今回初めて参加した人もおり、学生時代とはすっかり変わった容姿になったかなとピンとこない場面もあった。飲み物が一段落したころ、中村先生から近況のお

話をいただいた。学生時代と殆ど変わっておられず、お顔のツヤが素晴らしいことが何よりお元気な様子を伝えておられた。続いて土佐弘之君が金高の創立の経緯について話をした。写真撮影の後は、CDから校歌の前奏が流れ、谷口俊一君のリードで校歌を歌い始めた。校歌を歌うということがこんなにも血を沸かしたせるものなのか、第三フレームになるとその歌声は窓ガラスを震わすかのような大合唱になった。終いにはエールも飛び出し「フレイ・フレイ・金高オ」と手拍子と雄たけびがこだまするファイナルとなった。

二次会には殆どの人が参加し、二時間半のカラオケを楽しんだ後散会した。（高橋吉則）

□ 花の八期会

八期会が2月17日（土）、中華街の同発新館で開かれた。オリンピック開催時期に合わせて定期化してから五回目、18年が経ち、今回は3年ぶりの開催となった。前回と同じように60人を超す参加があった。

代表幹事渋谷徹の挨拶のあと、司会の伊藤壽枝子が「次回は2008年」と提案、3年後の開催をまず決めた。会はずっとホームの座敷スタイル。クラスを超えて、テーブルに分かれて交歓した。「60過ぎれば、比べるのは血糖値」などとまじめな冗談のやりとりもあり、初参加者も、短時間うちに卒業45年の距離をグンと詰めて、再会を喜びあった。今回も望月先生が参加され、挨拶に立ち、「喜寿を過ぎて立つのがつらいが、来て良かった」と会場を沸かせた。「放課後」のカラオケでもほとんどが去りがたく、戦中・戦後の混乱世代の花の八期生は63年のそれなりの豊饒を確かめ合った。

（遠井信久記）

平成十七年度事業計画

- ① 総会
 - ② 「紫朋」50号発行
 - ③ 常任幹事会
 - ④ 新幹事歓迎会
 - ⑤ ハイキングの会
 - ⑥ 舟釣りの会
 - ⑦ 金高祭への参加
 - ⑧ リース教室
 - ⑨ ホームページの運営
 - ⑩ 同期会・クラス会への補助
 - ⑪ 在校生への支援
- *各行事の恩内、参加申し込みは、各担当者までご一報ください。

□ 常任幹事会

第一回 四月九日(土)
 第二回 九月三日(土)
 第三回 一月二十一日(土)
 各回 14:00~16:00

□ 新幹事歓迎会

四月九日(土) 17:00~

□ 総会

五月二十八日(土) *1ページ案内参照

□ ハイキングの会

今年度から開催日を十一月と翌年三月に変更しましたのでご注意ください。

▼ 第二十一回
 平成十七年十一月十二日(土)
 百蔵山(1003.4m)

昨年登った倉岳山と中央線を挟んだ北西側にある山。猿橋から登り始めて、大体尾根筋をぐるりと回って猿橋駅へ

戻る。大月市の秀麗富岳十二景の7番目だけあって山頂は富士山はじめ道志や丹沢の眺めがすばらしい。
 歩行時間4時間半。
 集合は東神奈川駅7時15分
 中央線 猿橋駅9時20分

▼ 第二十二回

平成十八年三月四日(土)

シダンゴ山(758m)

西丹沢、新松田からバスで8分、という集落の西側にある。富士山と丹沢山塊を望む山頂は明るくのびやかで、コースも整備されている。余裕のある人は帰りに松田ハーブガーデンの河津桜も見に行けると思います。
 歩行時間3時間半。
 集合は大船駅7時50分(JR利用)
 横浜駅7時30分(相鉄・小田急利用)
 新松田駅前9時

参加希望の方は事前にお申し込みください。詳しい計画書をお送りします。葉書またはFAXに①卒業期組 ②氏名 ③下住所 ④電話 ⑤参加する回(21回、22回) ⑥同行者がいれば氏名・連絡先を書いて左記宛てに願います。
 幹事 相川勲(5期) 明石稔(12期)

(申込先) 相川 勲

〒236-0016

横浜市金沢区谷津町278

FAX 045(781)3703

□ 舟釣りの会

十月十五日(土) 7:30~15:30

(申込先) 高梨 修

電話 〇四五(七八一)一九二四

※天候条件等により延期となる場合もありますので事前にお問い合わせ下さい。

□ 金高祭

十月一日(土)・二日(日)

□ リース教室

十二月三日(土) 10:00~12:00

(申込先) 御菌 昌人

電話 〇四五(七七八)七一五五

新幹事の紹介

今年度、五十三期生として新たに紫朋会の幹事となられた方をご紹介します。

- 1組 大庭 佑介 横山 遥
- 2組 遠藤 武士 鍋島 幸菜
- 3組 高山 大輔 田草川 洋佑
- 4組 熊谷 昂介 武田 良平
- 5組 井口 昌幸 金子 佳代
- 6組 櫻村 潤 宮脇 奈央美
- 7組 柳澤 萌 小山 聡美
- 8組 内藤 良太 牧野 亜美 (敬称略)

平成十六年度の役員・スタッフ

- 会長 高梨 修 (十二期)
- 副会長 大津 弘子 (七期)
- 松原 尊臣 (十六期)
- 御菌 昌人 (二十四期)
- 伊藤 壽枝子 (八期)
- 佐藤 邦彦 (十四期)
- 中塚 路子 (十七期)
- 佐藤 敏幸 (三十期)
- 村杉 亜以子 (四十二期)
- 小堀 奈緒子 (四十二期)
- 事務局長 伊藤 敏幸 (三十期)
- 会計 村杉 亜以子 (四十二期)
- 会計監査 小堀 奈緒子 (四十二期)

Machintosh Art Work Office
 ポスター/カタログ/パンフレット/チラシ広告/印刷物全般/企画・制作
 E-mail: chosa@m2.pbc.ne.jp (自宅)

TIC
 TOTAL INFORMATION CREATIVE

株式会社 ティ・アイ・シー
 代表取締役 帖佐芳明 (21期生)
 〒144-0052 東京都大田区蒲田2-7-17 Tel.03-5711-1022 Fax.03-5711-1077
 E-mail tic@tic85.co.jp URL http://www.tic85.co.jp

杉田商店街

水野こんにやく店

235-0033 横浜市磯子区杉田2-2-11
 Tel&Fax 045-771-2567
 第5期卒業 水野直春

紫朋会 平成 16 年度決算報告

自 平成 16 年 4 月 1 日 至 平成 17 年 3 月 31 日

| 収入の部 | | |
|-----------|-----------|-----------|
| 科 目 | 予 算 | 決 算 |
| A 前年度繰越金 | 5,126,425 | 5,126,425 |
| B 入会金 | 2,150,000 | 2,150,000 |
| C 総会費 | 50,000 | 36,000 |
| D 銀行預金利息等 | 1,000 | 44 |
| E 寄付金 | 1,000,000 | 1,138,000 |
| F 雑収入・会費等 | 80,000 | 28,506 |
| 収 入 合 計 | 8,407,425 | 8,478,975 |

| 支出の部 | | |
|---------------|-----------|-----------|
| 科 目 | 予 算 | 決 算 |
| A 総会費 | 200,000 | 171,734 |
| B 常任幹事会費 | 150,000 | 53,810 |
| C 紫朋発行費 | 1,300,000 | 1,075,882 |
| D 同窓会・OB 会補助費 | 100,000 | 65,000 |
| E 金高祭費 | 100,000 | 59,161 |
| F 事務局活動費 | 400,000 | 253,402 |
| G 郵送費 | 1,250,000 | 1,169,148 |
| H 在校生支援金 | 700,000 | 92,970 |
| I 予備費 | 40,452 | 0 |
| 支 出 合 計 | 4,240,452 | 2,941,107 |

| | | |
|--------|-----------|-----------|
| 次年度繰越金 | 4,166,973 | 5,537,868 |
|--------|-----------|-----------|

| 繰越明細 | |
|-------------|-----------|
| 横浜銀行（学校用） | 610,789 |
| 東京三菱銀行（会計用） | 4,833,888 |
| 郵便局 | 44,541 |
| 現金 | 48,650 |
| 合計 | 5,537,868 |

紫朋会 平成 17 年度予算案

自 平成 17 年 4 月 1 日 至 平成 18 年 3 月 31 日

| 収入の部 | | |
|-----------|-----------|-----------|
| 科 目 | 予 算 | 前年度予算 |
| A 前年度繰越金 | 5,537,868 | 5,126,425 |
| B 入会金 | 2,150,000 | 2,150,000 |
| C 総会費 | 50,000 | 50,000 |
| D 銀行預金利息等 | 50 | 1,000 |
| E 寄付金 | 1,100,000 | 1,000,000 |
| F 雑収入・会費等 | 50,000 | 80,000 |
| 収 入 合 計 | 8,887,918 | 8,407,425 |

| 支出の部 | | |
|---------------|-----------|-----------|
| 科 目 | 予 算 | 前年度予算 |
| A 総会費 | 200,000 | 200,000 |
| B 常任幹事会費 | 100,000 | 150,000 |
| C 紫朋発行費 | 1,200,000 | 1,300,000 |
| D 同窓会・OB 会補助費 | 100,000 | 100,000 |
| E 金高祭費 | 100,000 | 100,000 |
| F 事務局活動費 | 400,000 | 400,000 |
| G 郵送費 | 1,250,000 | 1,250,000 |
| H 在校生支援金 | 700,000 | 700,000 |
| I 予備費 | 50,000 | 40,452 |
| 支 出 合 計 | 4,100,000 | 4,240,452 |

| | | |
|--------|-----------|-----------|
| 次年度繰越金 | 4,787,918 | 4,166,973 |
|--------|-----------|-----------|

事務局からのお知らせ

卒業生のお店、会社、自営業の方を 紹介して下さい

事務局では、「卒業生のお店大発掘」を引き続きしております。従来、飲食店を中心にしておりましたが、自営業者・経営者として各分野でご活躍されている方全てを対象といたします。

紹介していただいた情報は、ご本人の了承を得た後、「自営業者一覧」として、ホームページに掲載させていただきます。

自薦他薦を問いません。同封のハガキにご記入いただき、お送りください。よろしくお願いたします。

◎ あなたのホームページとリンクしませんか

紫朋会のホームページをご覧になった方。お気づきかと思いますが、既に何件かの会員のホームページがリンクされています。

現在ホームページをお持ちの方。リンク大歓迎です。ご希望の方はメールでお知らせください。

◎ 紫朋会ホームページが新しくなりました！

この2月にホームページを大改装しました。見慣れたページが突然変わっていて、驚かれた方も多かったのではないかと思います。

随時、メンテナンスを行ってまいります。紫朋会のホームページへのご意見・ご感想がございましたら、メールにてどしどしお寄せください。

なお、メンテナンスに協力していただける方、今年度も募集しております。よろしくお願いたします。

◎ ご自身の経験や趣味を生かしたいという方へ

カルチャターの講座とまではいなくても、何人かのグループに、自分が培った経験を伝えたい、習得した特技を教えたい、と思っていらっしゃる方を募集します。

詳細は未定ですが、活動の様子などをホームページなどで紹介していきます。ご希望の方は、同封のハガキの連絡欄にご記入いただき、お送りください。

◎ 同期会実施キャンペーン！

卒業五周年、十周年、五十周年のように記念同期会として開催される場合、紫朋会からの補助が倍額の一クラスにつき一万円となります。同期会のみ対象です。常任幹事からの事前連絡が必要です。